

平成27年度橋梁点検結果(41橋)

橋梁名	路線名	架設年度	橋長 (m)	幅員 (m)	健全性	備考
					判定区分	
小方橋	玖波青木線	1982	24.8	15	Ⅱ	
新町橋	飛石黒川線	1970	18.8	4.94	Ⅲ	H28年度補修詳細設計実施
湯舟橋	黒川湯舟線	1948	15.6	7	Ⅱ	
登里橋	小栗林後原線	1971	25.8	4.6	Ⅱ	
下黒川橋	黒川7号線	1968	18.2	6.8	Ⅱ	
川本橋	玖波21号線	1967	25.2	5.6	Ⅲ	H30年度補修詳細設計実施
玖波30号線1号橋	玖波30号線	1973	27.6	4.8	Ⅲ	H30年度補修詳細設計実施
八丁川橋	八丁2号線	1980	25	6.62	Ⅱ	
栄橋	沖ノ窪1号線	1998	42.5	6.2	Ⅱ	
大屈橋	大栗林小栗林1号線	1935	27	4.4	Ⅱ	H27年度補修済
飯谷橋	前飯谷1号線	1988	23.5	6.7	Ⅱ	
玖波9号線1号橋	玖波9号線	1985	66.1	7.2	I	
神田橋	玖波9号線	1990	40.1	7.1	Ⅱ	
小島橋	東栄6号線	1991	95	4.4	Ⅲ	H30年度補修詳細設計実施
向田橋	玖波中学校線	1964	27.1	5.78	Ⅱ	
向田橋(歩道)	玖波中学校線	1964	28.6	1.9	Ⅲ	
樋門橋	東栄中市線	1964	5.6	15.5	Ⅱ	
南栄東栄線1号橋	南栄東栄線	1964	2.5	11.7	I	
駅前油見線1号橋	駅前油見線	1964	3	15.55	Ⅲ	
豊年橋	本町白石2号線	1938	3.5	5.9	Ⅲ	
白石7号線1号橋	白石7号線	1964	3.4	8.6	Ⅲ	
大樋筋1号橋	北栄西栄1号線	1960	5.1	5.6	Ⅱ	
北栄新町1号線1号橋	北栄新町1号線	1955	4.1	7	Ⅱ	
西栄東栄2号線1号橋	西栄東栄2号線	1964	5.2	6.3	Ⅲ	H30年度補修詳細設計実施
本流橋	西栄東栄2号線	1955	4.4	10.35	Ⅲ	
唐樋橋	西栄南栄2号線	1955	2.3	12	Ⅲ	
二井橋	元町木野線	1962	4.5	5.8	Ⅲ	H30年度補修詳細設計実施
加計橋	元町木野線	1960	6.3	7.2	Ⅲ	
玖波青木線2号橋	玖波青木線	1970	4.9	16.2	Ⅱ	
立戸11号線1号橋	立戸11号線	1964	2.5	3.7	Ⅲ	
正木橋	三ッ石1号線	1964	10.7	4.7	Ⅱ	
明治新開大人原線1号橋	明治新開大人原線	1960	8.5	2.96	Ⅲ	H30年度補修詳細設計実施
玖波中学校線1号橋	玖波中学校線	1964	3	7.6	Ⅲ	H27年度補修済
土石川橋	大人原1号線	1950	9.8	6.1	Ⅱ	
清水上橋	大迫1号線	1945	3.2	4.4	Ⅱ	
中比作橋	比作1号線	1960	10.3	3.6	Ⅱ	
小栗林後原線2号橋	小栗林後原線	1964	3	5.5	Ⅲ	
松ヶ原1号線1号橋	松ヶ原1号線	1964	8.4	4.6	Ⅱ	
松ヶ原2号線1号橋	松ヶ原2号線	1945	4.1	4	Ⅱ	
大畑橋	松ヶ原3号線	1945	8.7	4.9	Ⅲ	H27年度補修済
松ヶ原4号線1号橋	松ヶ原4号線	1955	6	3.8	Ⅱ	

※点検結果(損傷度)判定区分

- ・Ⅰ(健全)…構造物の機能に支障が生じていない。
- ・Ⅱ(予防保全段階)…交通に支障はないが、損傷が進行しているため、対策の要否を検討する必要がある。
- ・Ⅲ(早期措置段階)…損傷が大きく、このまま放っておくと、構造上の問題が生じる恐れが懸念され、早急な対応の必要がある。
- ・Ⅳ(緊急措置段階)…構造物の機能に支障が生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態であり、直ちに「通行止め」等の通行規制を実施する必要がある。